フマキラー株式会社

2020年3月期 決算説明資料

日用品質

フマキラー®

2020年6月12日

日用品質
フマキラー®

目次

Ⅰ．決算概要

Ⅱ．今期予想と今後の展開

Ⅲ．補足資料

Ⅰ．決算概要
（2020年3月期）

決算概要－総括

20.3期業績総括

2Q決算発表時に、期初の天候不順による殺虫剤の不振や販売推進費の増加、商品構成の変化等を勘案し、業績予想を下方修正

下期はおおむね好調に推移し、以下要因により修正計画をクリアできた

①東南アジア市場における売上拡大による利益改善

②新型コロナウィルスの感染防止のためのアルコール除菌剤の売上増

③シロアリ関連の好調（防疫剤・その他）

期初に設定した課題については、着実に進展しているが、今期以降も継続的に取り組み

【国内】

- 販促経費の削減
- 売上/利益の予実管理の徹底
- 見込み生産の精度向上と在庫管理（在庫削減）

【海外】

- 競争激化の中での売上と利益の予実管理の徹底

日用品質 フマキラー

決算概要－連結売上・利益

- 新型コロナウィルス感染症対策としてアルコール除菌関連商品の需要が拡大
- 2Qにおいて下方修正した計画値を大幅に上回り、期初計画並みの着地

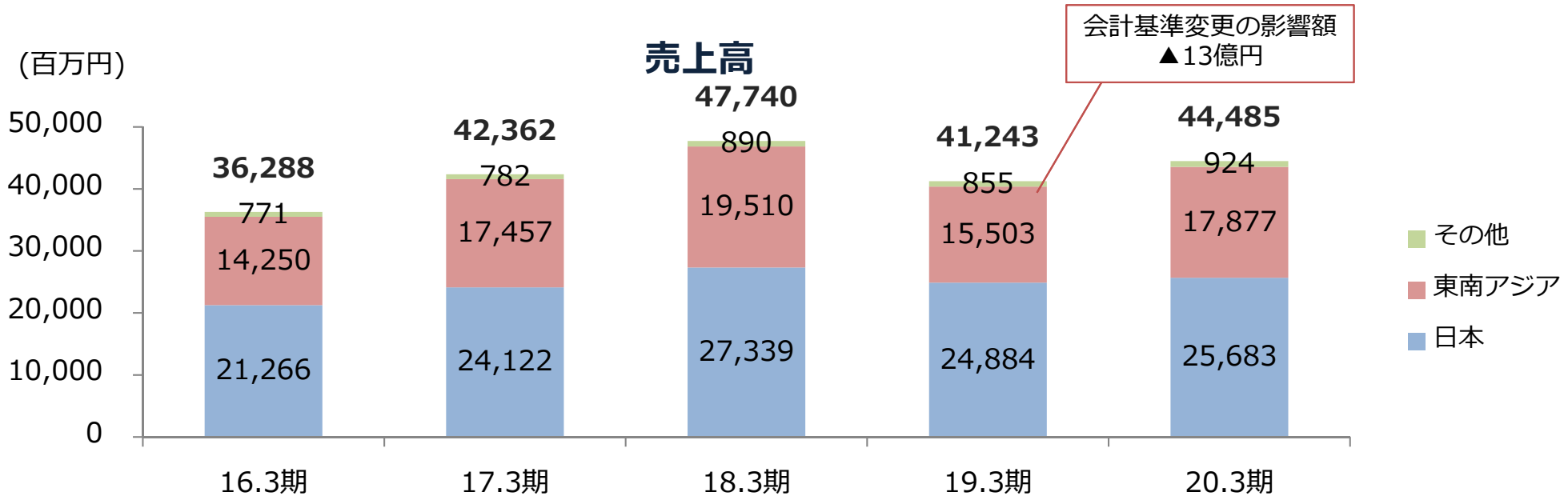
	19.3期実績		20.3期修正計画（19.12.09発表値）		20.3期実績			
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	前期比（%）	計画比（%）
売上高	41,243	100.0	43,200	100.0	44,485	100.0	107.9	103.0
売上総利益	12,115	29.4	12,534	29.0	13,094	29.4	108.1	104.5
営業利益	1,136	2.8	1,130	2.6	1,785	4.0	157.2	158.0
経常利益	1,332	3.2	1,410	3.3	2,021	4.5	151.7	143.3
親会社株主に帰属する当期純利益	693	1.7	340	0.8	770	1.7	111.0	226.5
1株当り利益	42.09円		20.63円		46.72円			

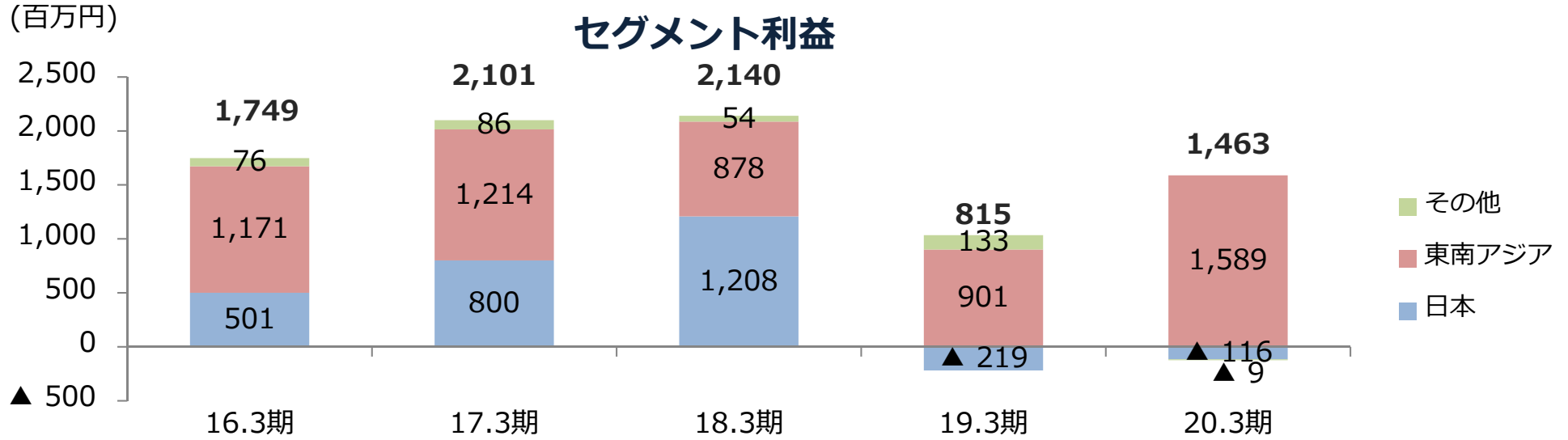
※売上総利益：返品調整引当金繰入前

日用品質 フマキラー

決算概要－セグメント情報

- セグメント利益は、東南アジアが増益となった一方で、日本は上期の5億円超の赤字が響き、通期でも赤字となった

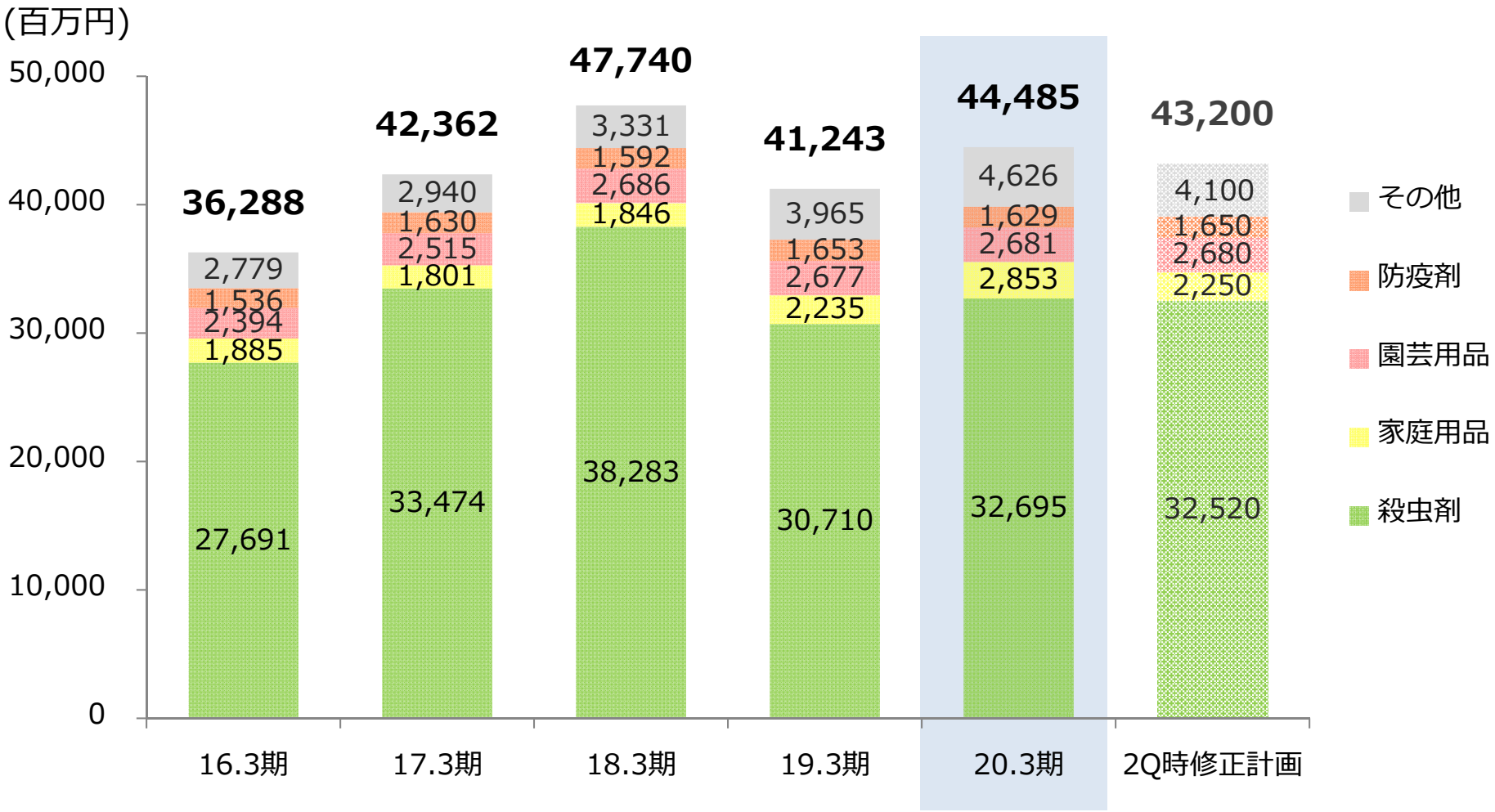




日用品質 フマキラー

決算概要－商品ジャンル別売上①

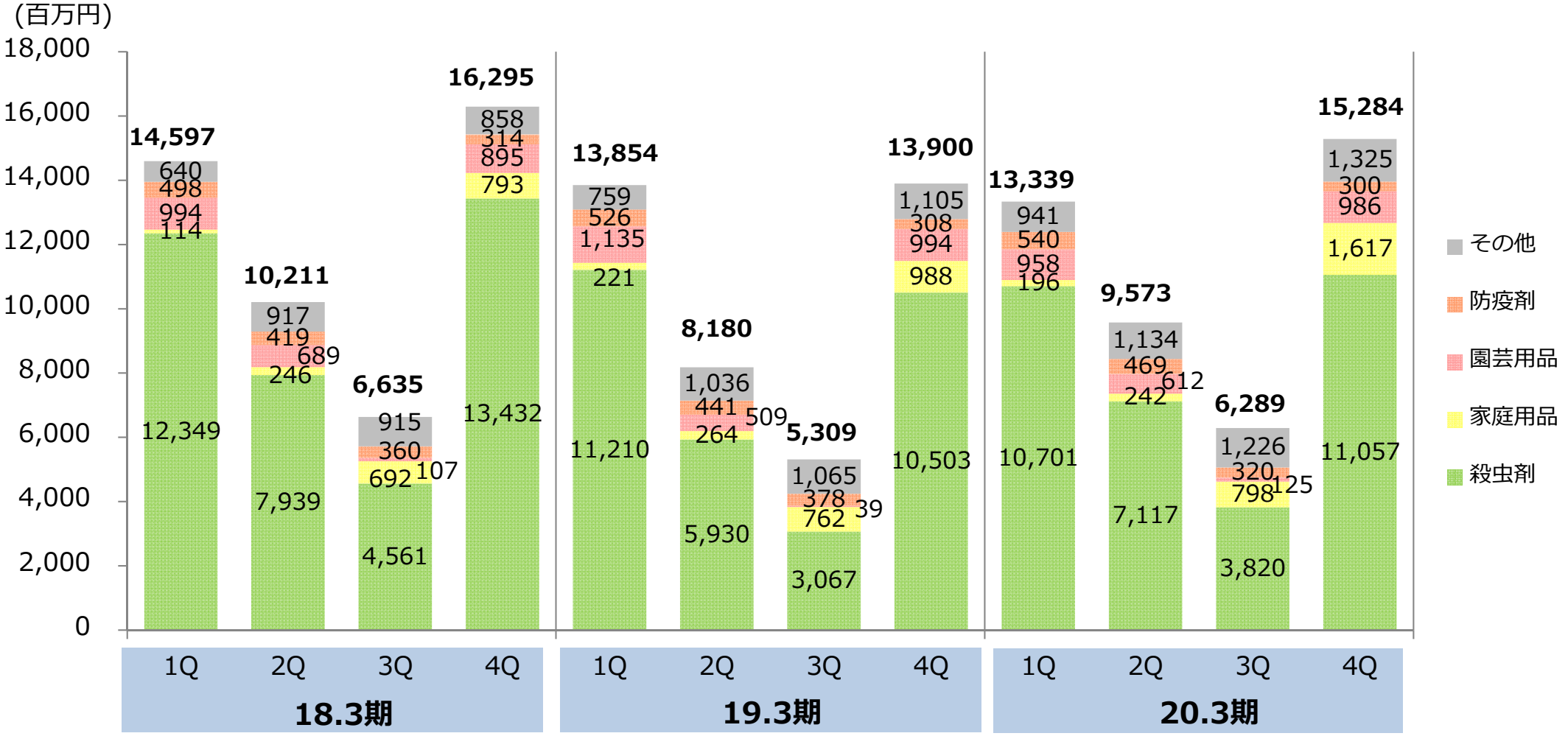
- 対前期比では、殺虫剤が東南アジア中心に伸長
- 修正計画比では、家庭用品とその他ジャンルの売上が大きく上振れ



日用品質 フマキラー

決算概要－商品ジャンル別売上②

- 殺虫剤は、1Qに国内が天候不順で苦戦するも、その後海外が牽引し復調
- 家庭用品は、新型コロナウィルス感染症の対策商品として、アルコール除菌関連商品が4Qに急増
- その他ジャンルが、17.3期2Q以降四半期ベースで前年同期比増収を続けている



日用品質 フマキラー®

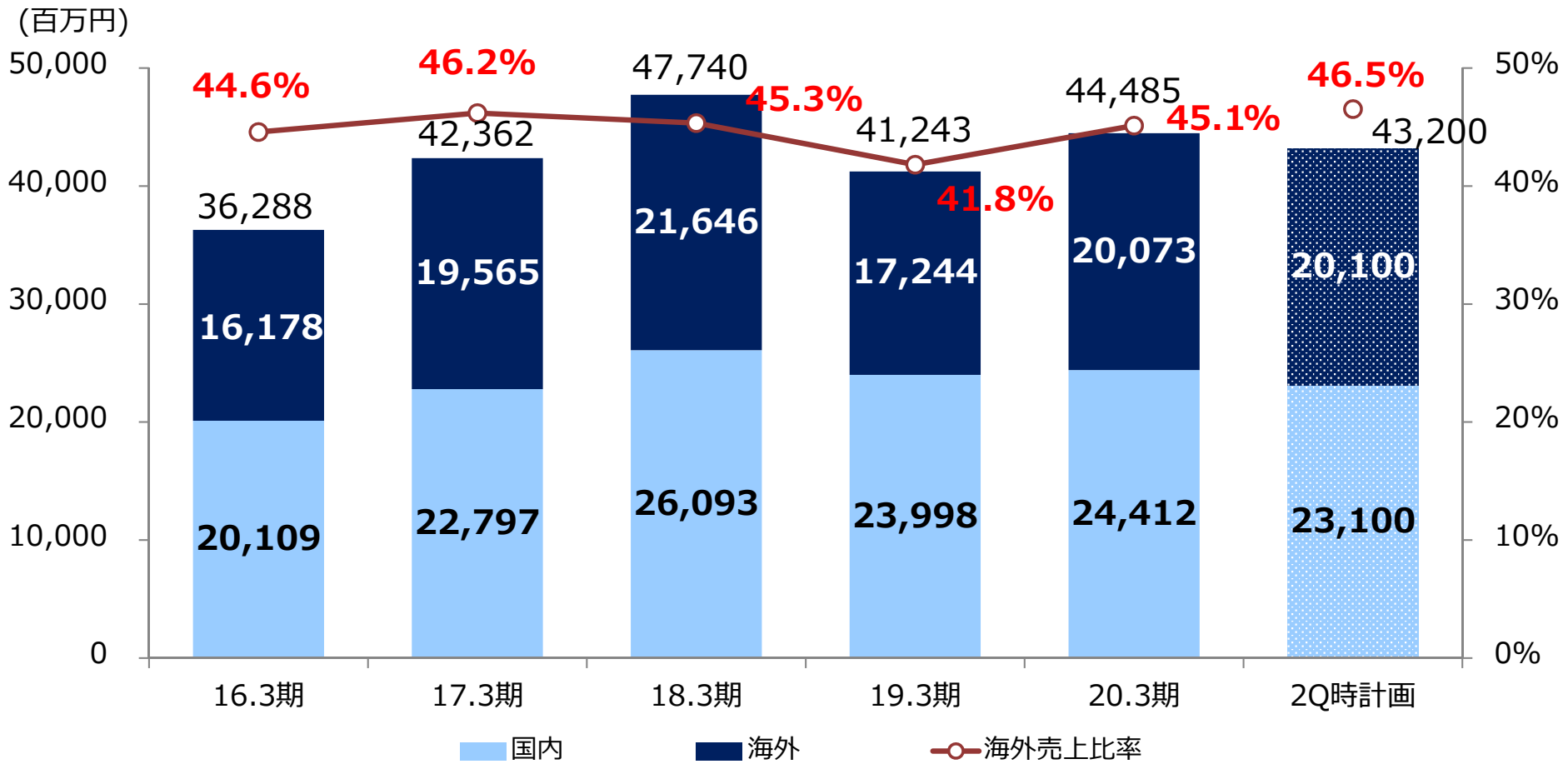
決算概要－売上高の増減要因

ジャンル		前期比	要因
殺虫剤	国内	93.6%	➔ 最盛期の４～６月に気温が上がらず市場が低迷し売上減 ➔ ８月以降残暑が続き市場が回復するも、最盛期における売上減の影響が大きくトータルで前期を割り込む
	海外	116.6%	➔ 昨年落ち込んだインドネシアが回復し、大幅な増収 ➔ 他の東南アジア各国の売上も増加
家庭用品		127.6%	➔ 新型コロナウィルス感染症の影響によりアルコール除菌剤等の需要が高まり大幅な増収
園芸用品		100.1%	➔ 除草剤が好調に推移し、不快害虫用殺虫剤も堅調であった一方で、主力の殺虫殺菌剤が天候不順の影響を受け減収
防疫剤 その他		116.7%	➔ フマキラー・トータルシステム㈱のシロアリ施工工事が好調
合計		107.9%	

日用品質 フマキラー

決算概要－国内/海外売上高

- 国内は家庭用品の伸びにより修正計画を上回る。海外は東南アジアが年間を通じて好調に推移
- 海外売上比率は3.3ポイント上昇



日用品質 フマキラー

決算概要 – 為替の影響

- 為替による業績影響は、売上で+3.6億円、営業利益で+6千万円

為替変動による売上・利益増減額

(百万円)

	売上高	営業利益	備考（営業利益）
フマキラー	▲29	＋14	海外売上▲4、海外仕入＋17
海外子会社	+391	+49	インドネシア（2社）+53、メキシコ▲2、アジア▲1他
合計	+362	+62	

期末レート

期末	18年12月	19年12月
円/100ﾙﾋﾟｱ	0.76	0.79
円/リンギット	26.66	26.60
円/ルピー	1.58	1.54
円/ペソ	5.64	5.82

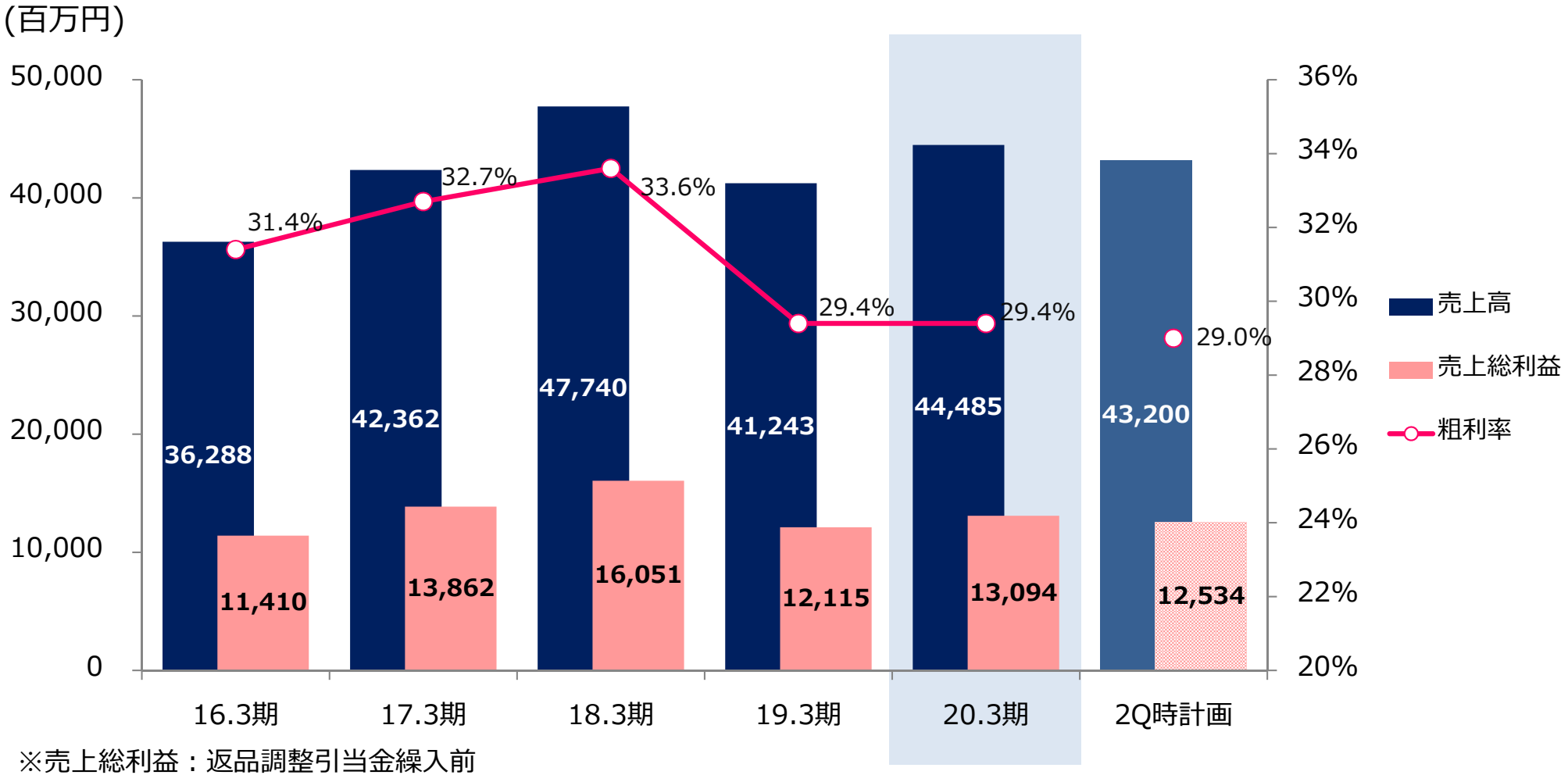
期中平均レート

期中平均	19.3期 (18年4月-19年3月)	20.3期 (19年4月-20年3月)
円/ドル	111.07	108.83
円/ユーロ	127.34	121.45

日用品質 フマキラー

決算概要－売上総利益（粗利率）

- 売上総利益率は前期並み。修正計画を若干上回る
- 販売経費の増加、商品構成の変化、在庫削減(新規生産の生産調整)等から上期に前年同期比低下したが、下期はアルコール除菌剤の増加などの要因から販売構成が変化し、粗利率改善に寄与

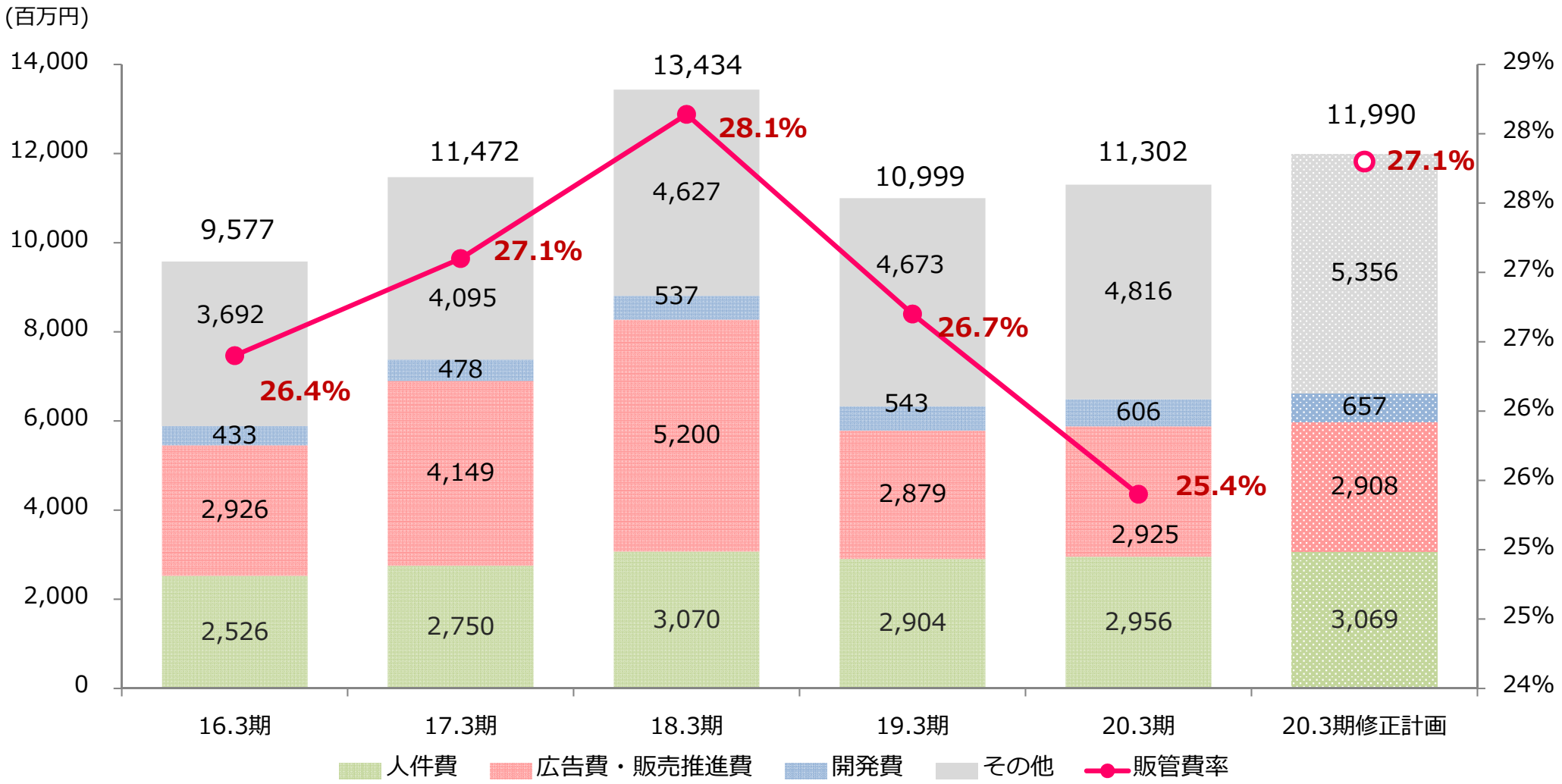


※売上総利益：返品調整引当金繰入前

日用品質 フマキラー

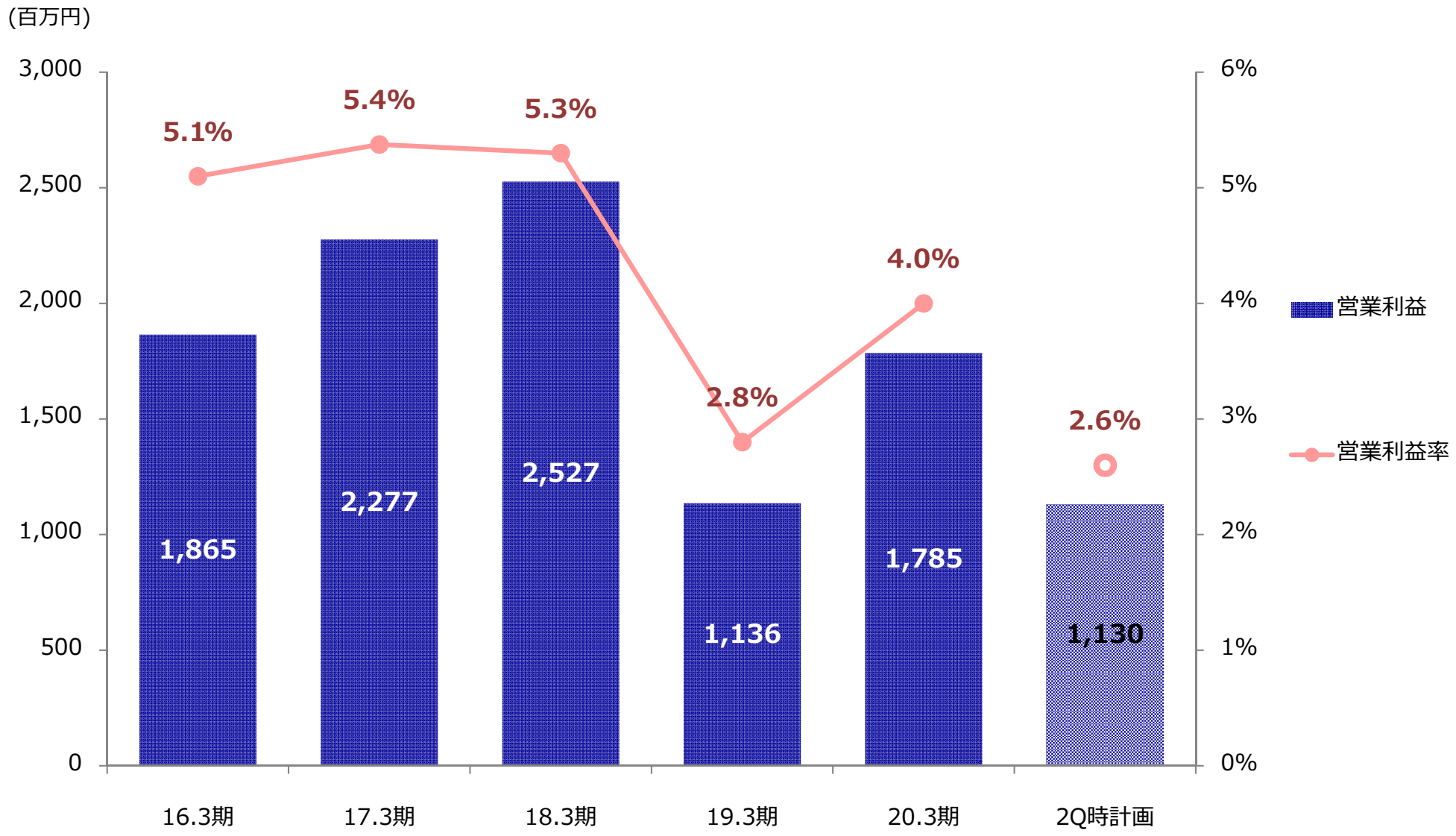
決算概要―販管費

- 運送費、研究費、人件費等が増加し前期対比で増加も、修正計画に対して減少し、販管費率は前期に引き続き減少



日用品質
フマキラー

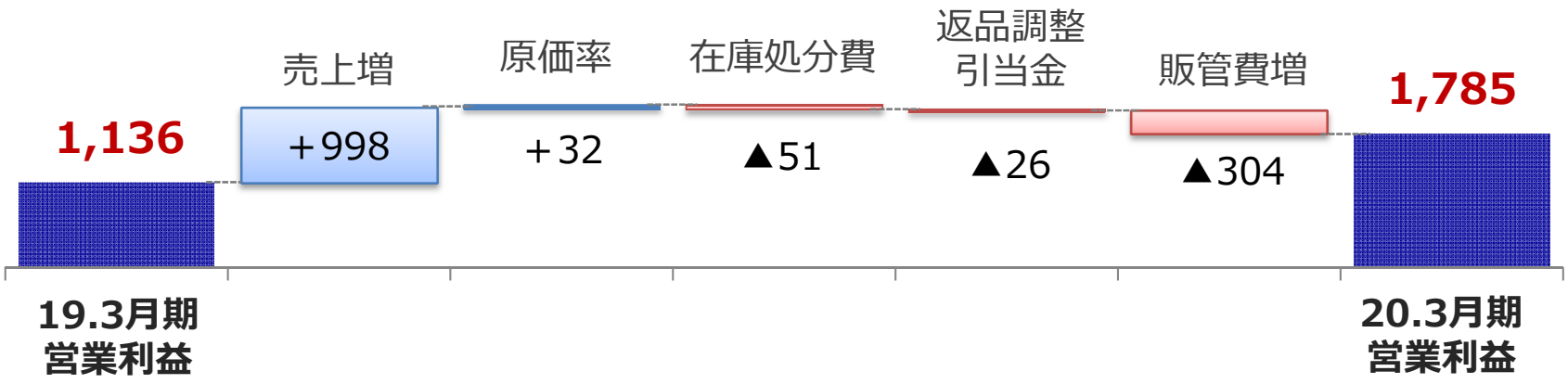
決算概要―営業利益



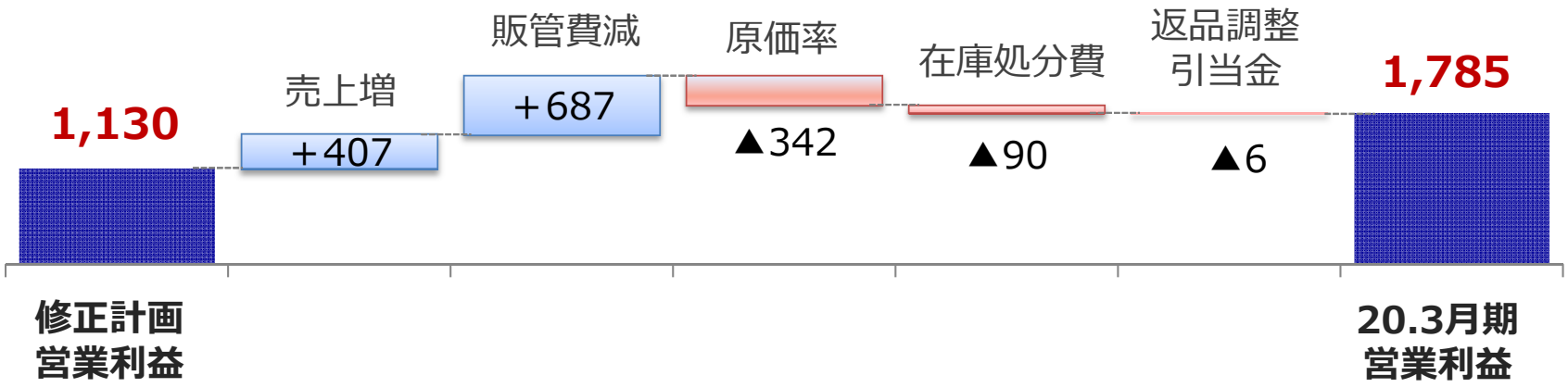
日用品質 フマキラー

決算概要―営業利益増減要因

前期比
＋650百万円



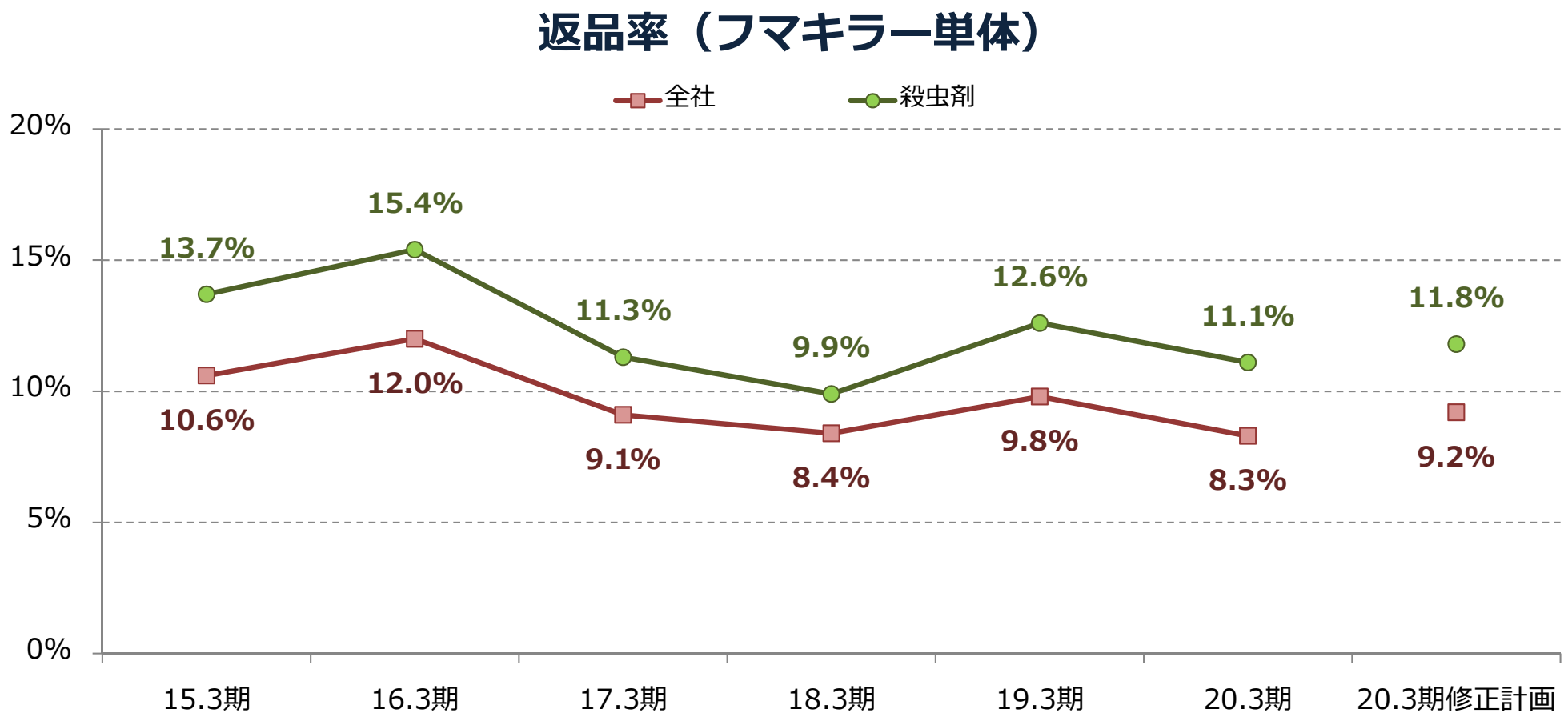
修正計画比
＋656百万円



日用品質 フマキラー

主な経営指標－返品率

- 20.3期は残暑が厳しく店頭消化が進み、流通在庫が減少した結果、返品率が低下



日用品質
フマキラー

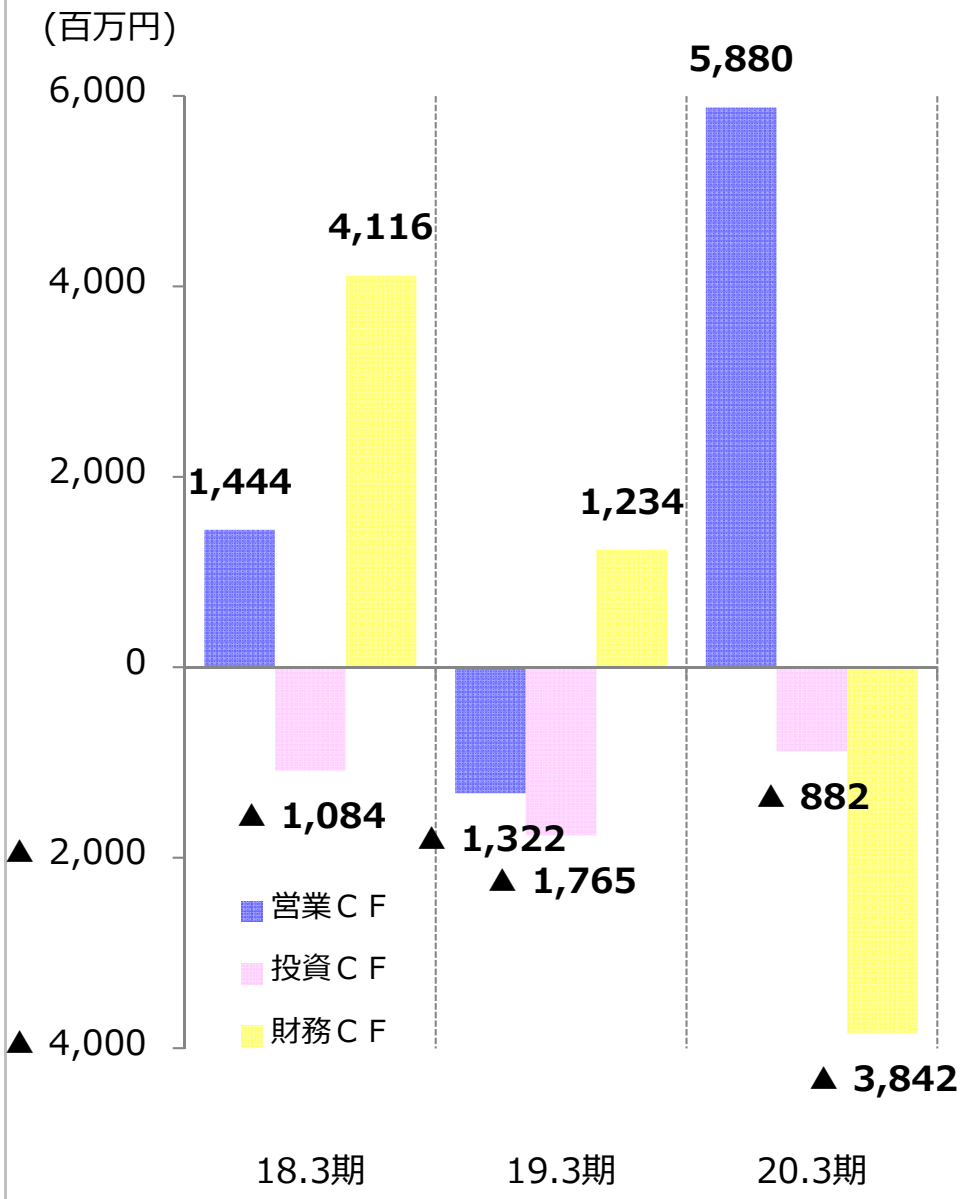
決算概要－貸借対照表

(単位：百万円)

	19.3期末	20.3期末	対19.3期末増減	
流動資産	28,844	26,863	▲1,981	
現金及び預金	5,087	6,281	1,194	
売上債権	12,596	12,232	▲364	
たな卸資産	9,960	7,544	▲2,416	フマキラー単体の在庫削減
固定資産	13,336	12,962	▲374	
有形固定資産	4,818	5,295	477	
無形固定資産	2,055	1,748	▲307	
投資有価証券	6,040	5,410	▲630	
資産合計	42,180	39,826	▲2,354	
流動負債	23,578	20,871	▲2,707	
買入債務	6,166	5,729	▲437	
固定負債	1,573	1,789	216	
有利子負債	13,135	9,904	▲3,231	在庫圧縮にともなう削減
負債合計	25,152	22,660	▲2,491	
純資産	17,028	17,165	137	
資本金	3,698	3,698	±0	
負債純資産合計	42,180	39,826	▲2,354	

日用品質 フマキラー

決算概要－キャッシュ・フロー



（単位：百万円）

	19.3期		20.3期
営業キャッシュフロー	▲1,322	→	5,880
税金等調整前当期純利益	1,310	→	1,946
売上債権増減額(▲は増加)	▲464	→	430
棚卸資産増減額(▲は増加)	▲420	→	2,458
仕入債務増減額(▲は減少)	▲1,010	→	▲451
その他	▲213	→	1,068
投資キャッシュフロー	▲1,765	→	▲882
有形固定資産の取得	▲972	→	▲694
子会社株式の取得	▲693	→	▲49
財務キャッシュフロー	1,234	→	▲3,842
短期借入金の純増減額	3,055	→	▲3,229
長期借入金の返済	▲1,250	→	－

Ⅱ．今期予想と今後の展開（2021年3月期）

日用品質
フマキラー

今期業績および配当予想について

- 新型コロナウィルス感染症の拡大は、世界規模で人々の生活や経済活動に大きな影響を与えている
- 今後も生活様式や企業活動への影響は続くとみられる

- 新型コロナウィルスの感染拡大の当社業績に与える影響について、現時点では合理的な予測が困難であるため、

  2021年３月期業績予想および配当予想は未定とし、

  今後、開示が可能となった時点で速やかに公表いたします

日用品質
フマキラー®

ブレーンズ・パーク計画

第Ⅰ期工事（2012年3月完成）

【エアゾール工場】
環境に配慮した工場で、より高品質、高効率の生産体制

ブレーンズ・パーク（全体イメージ図）

- 建設場所；当社広島工場（広島県廿日市市梅原）敷地内
- 建築面積；約5,335㎡
- 延床面積；約8,175㎡
- 内容；研究開発及び生産に関する施設等
  (生産に関する施設として、液剤工場の新設を予定)
- 投資金額；約19億円（概算）
- 資金計画；自己株式の処分資金並びに自己資金又は借入金により調達予定
- 完成時期；2021年3月（予定）

日用品質
フマキラー®

ミャンマー工場計画

ミャンマー工場建設

エアゾール工場

事務所棟

- 内容；エアゾール工場・事務所棟
- 稼働時期；コロナの影響等により稼働開始を延期

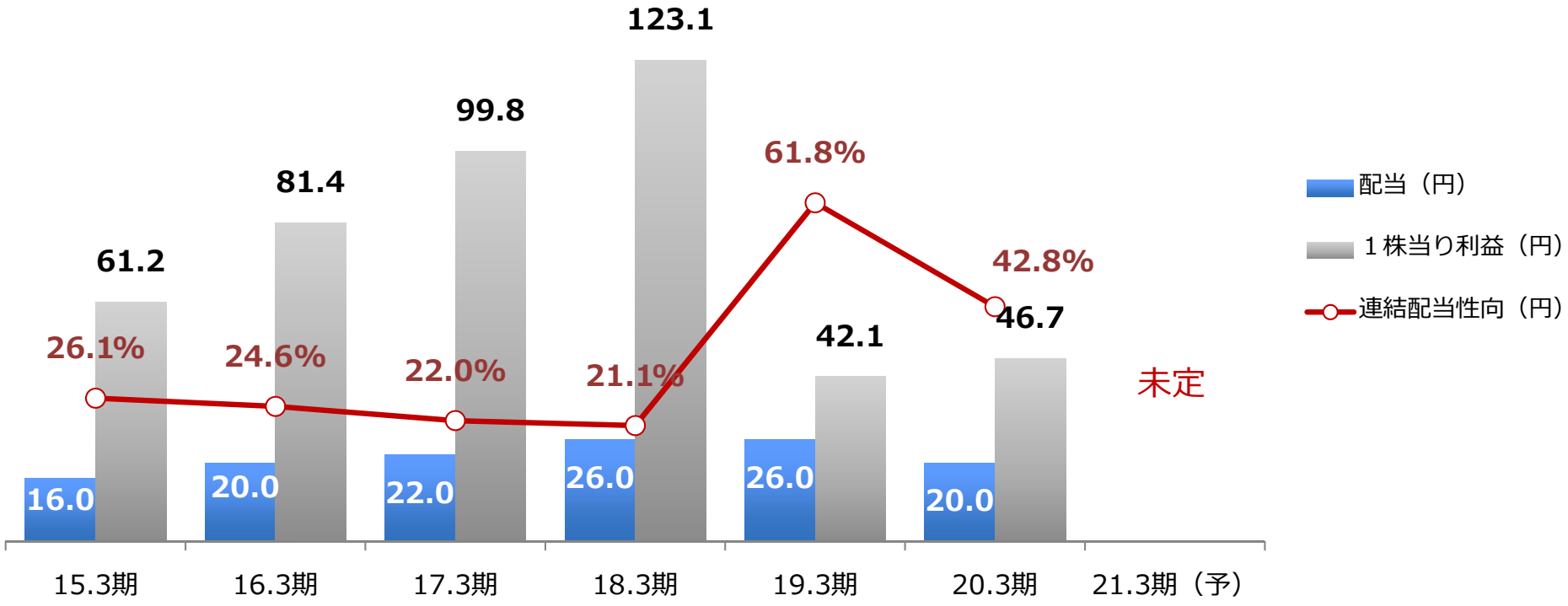
日用品質 フマキラー

配当について

配当に関する基本方針

株主様に対する利益還元として、業績・将来の事業展開や内部留保などを　総合的に勘案し、安定的かつ継続的な配当を行っていくことを経営の重要課題として位置づけています

配当及び連結配当性向の推移



※17.3期以前の1株当り利益および配当は2017年10月1日に実施した株式併合を考慮して遡及修正

日用品質

フマキラー®

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

≪本資料に関するご照会先≫

フマキラー株式会社

取締役　管理本部長　　佐々木　高範

TEL　　：0829-55-2111

FAX　　：0829-55-0712

E-mail：k.sasaki@fumakilla.co.jp

Ⅲ． 補足資料

日用品質 フマキラー

海外国別業績－インドネシア

海外子会社の通期売上高・営業利益

現地通貨ベース　　前期比(%)

	2019年 実績	2019年 修正計画
売上	114	117
営業利益	151	151

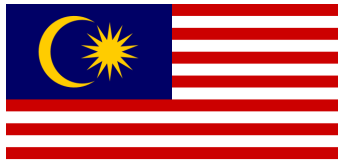
円換算　　前期比(%)

	2019年 実績	2019年 修正計画
売上	118	118
営業利益	157	153

日用品質 フマキラー

海外国別業績－マレーシア

海外子会社の通期売上高・営業利益見込み



現地通貨ベース

前期比(%)

	2019年 実績	2019年 修正計画
売上	109	109
営業利益※	-	-

※2018年が営業赤字のため－表記

円換算

前期比(%)

	2019年 実績	2019年 修正計画
売上	109	107
営業利益※	-	-

※2018年が営業赤字のため表記

日用品質 フマキラー

海外国別業績－タイ

海外子会社の通期売上高・営業利益見込み

現地通貨ベース

前期比(%)

	2019年 実績	2019年 修正計画
売上	117	133
営業利益※	-	-

※2018年が営業赤字のため－表記

円換算

前期比(%)

	2019年 実績	2019年 修正計画
売上	125	141
営業利益※	-	-

※2018年が営業赤字のため－表記

日用品質
フマキラー

海外国別業績－ベトナム

海外子会社の通期売上高・営業利益見込み

現地通貨ベース

前期比(%)

	2019年 実績	2019年 修正計画
売上	106	118
営業利益	128	135

円換算

前期比(%)

	2019年 実績	2019年 修正計画
売上	105	117
営業利益	127	133

日用品質
フマキラー

海外国別売上高

現地通貨ベース

前期比(%)

展開国	2019年 実績	2019年 修正計画
インドネシア（2社）	114	117
マレーシア	109	109
タイ	117	133
ベトナム	106	118
インド	92	114
メキシコ	111	126

円換算

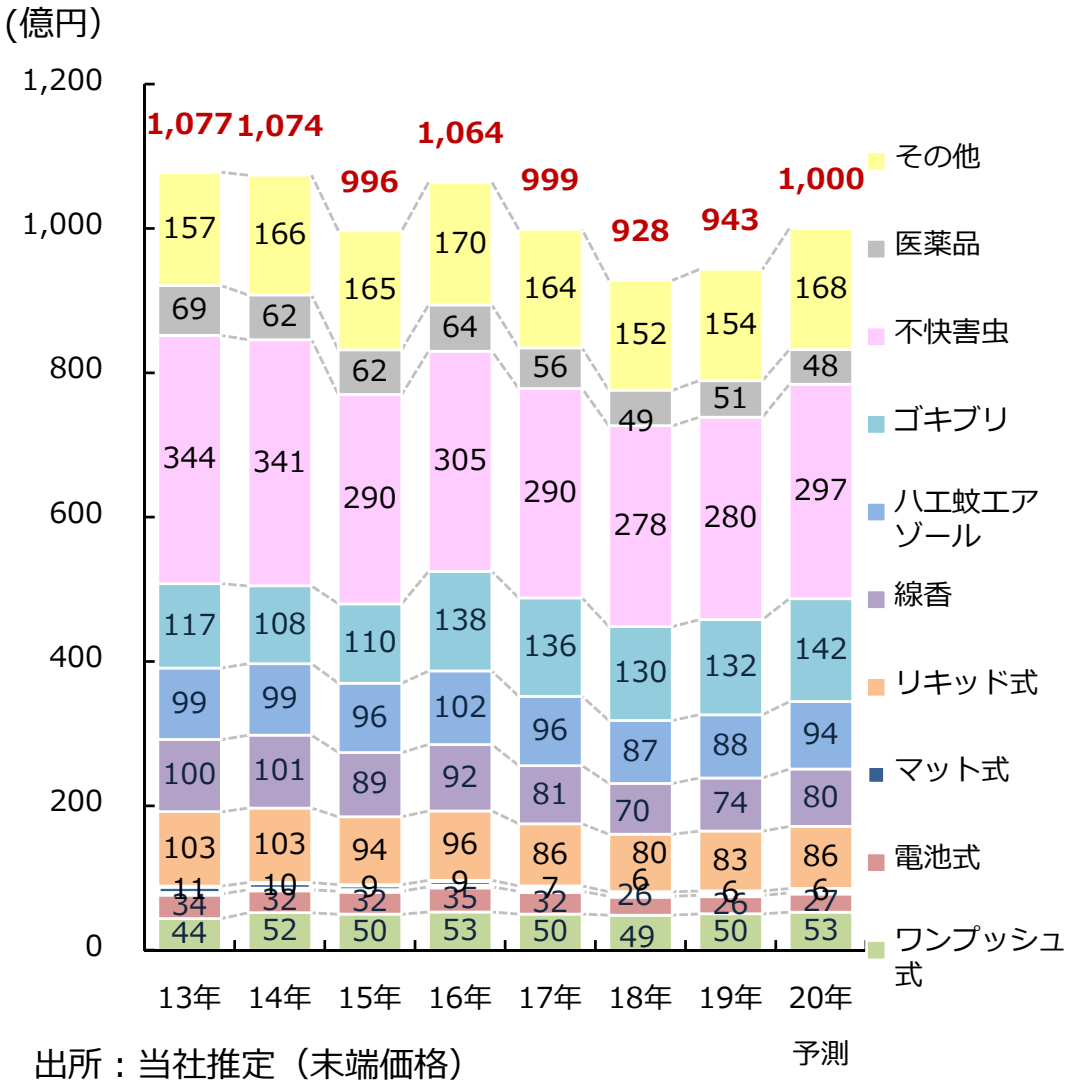
前期比(%)

展開国	2019年 実績	2019年 修正計画
インドネシア（2社）	118	118
マレーシア	109	107
タイ	125	141
ベトナム	105	117
インド	90	111
メキシコ	114	125
海外合計(単純合算)	114	115

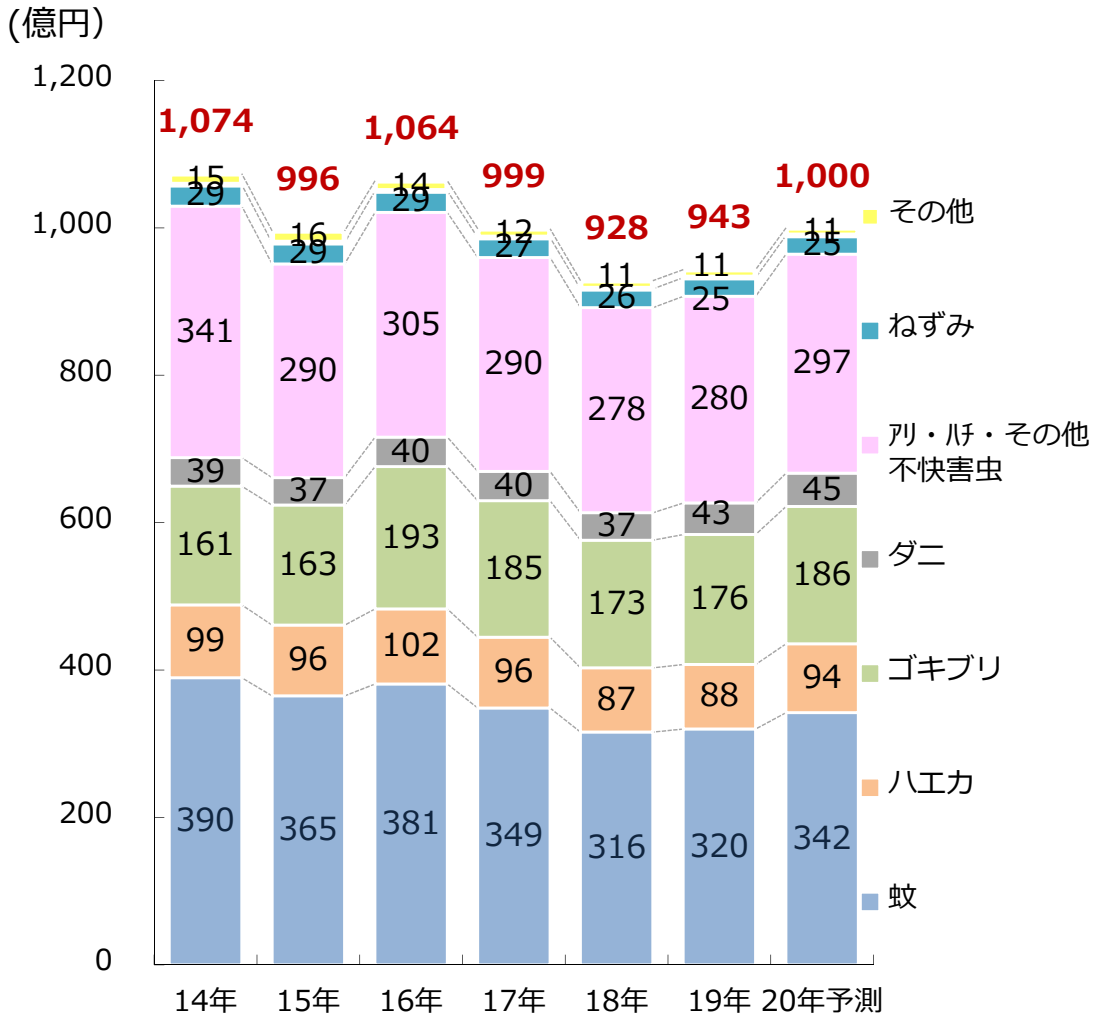
日用品質 フマキラー

家庭用殺虫剤市場規模－国内市場

国内・家庭用殺虫剤市場規模
年間約1,000億円（小売ベース）



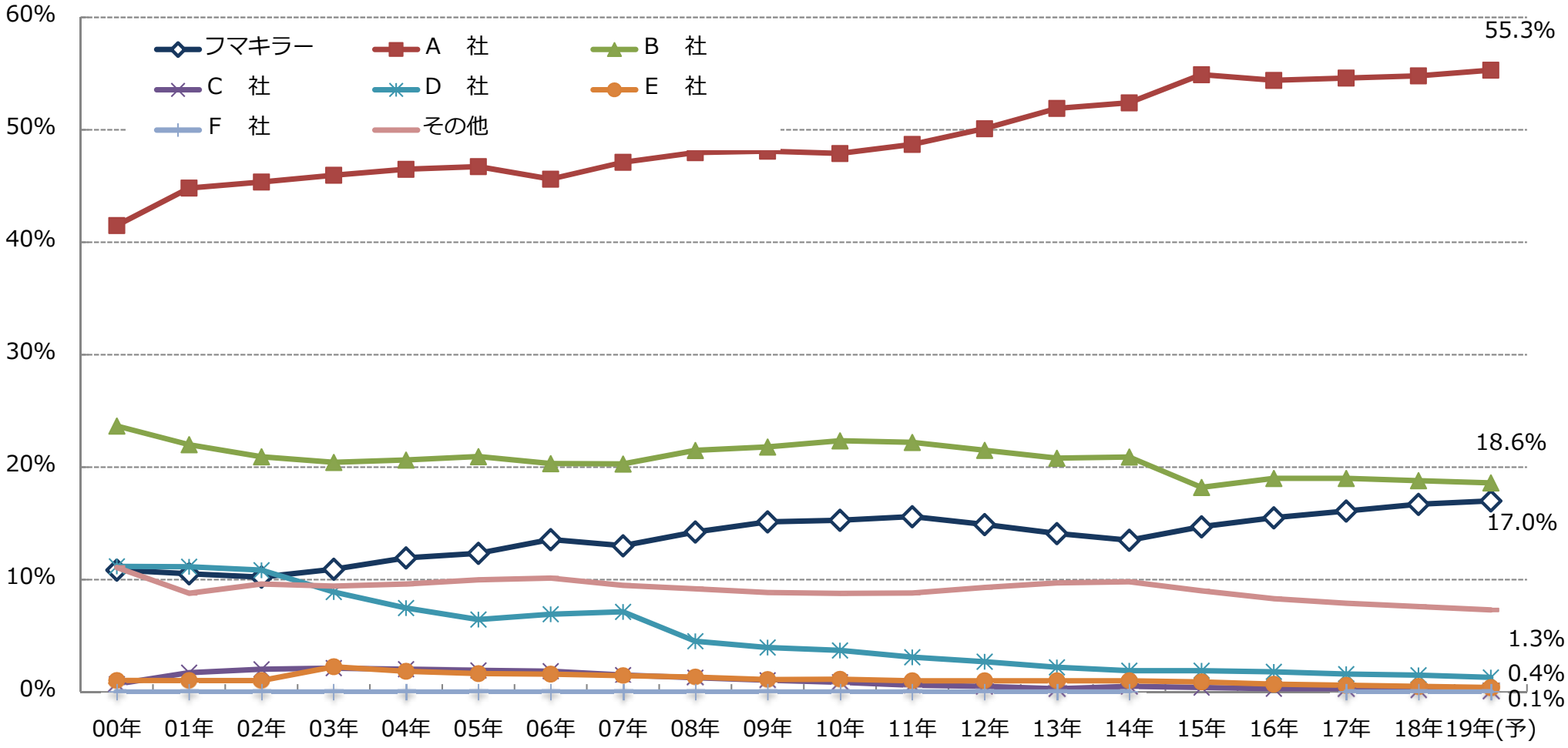
害虫別殺虫剤市場規模



出所：当社推定（末端価格）

日用品質
フマキラー

家庭用殺虫剤シェア推移



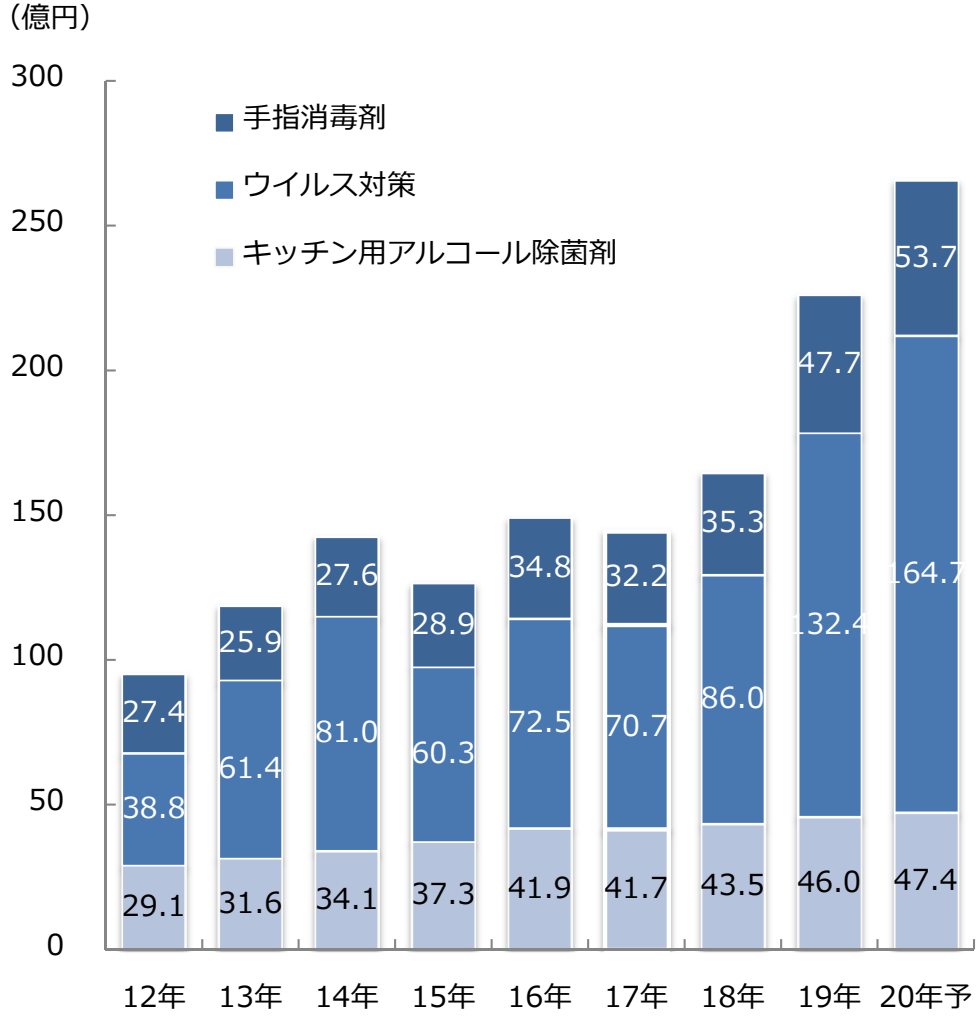
出所：当社推定

日用品質 フマキラー

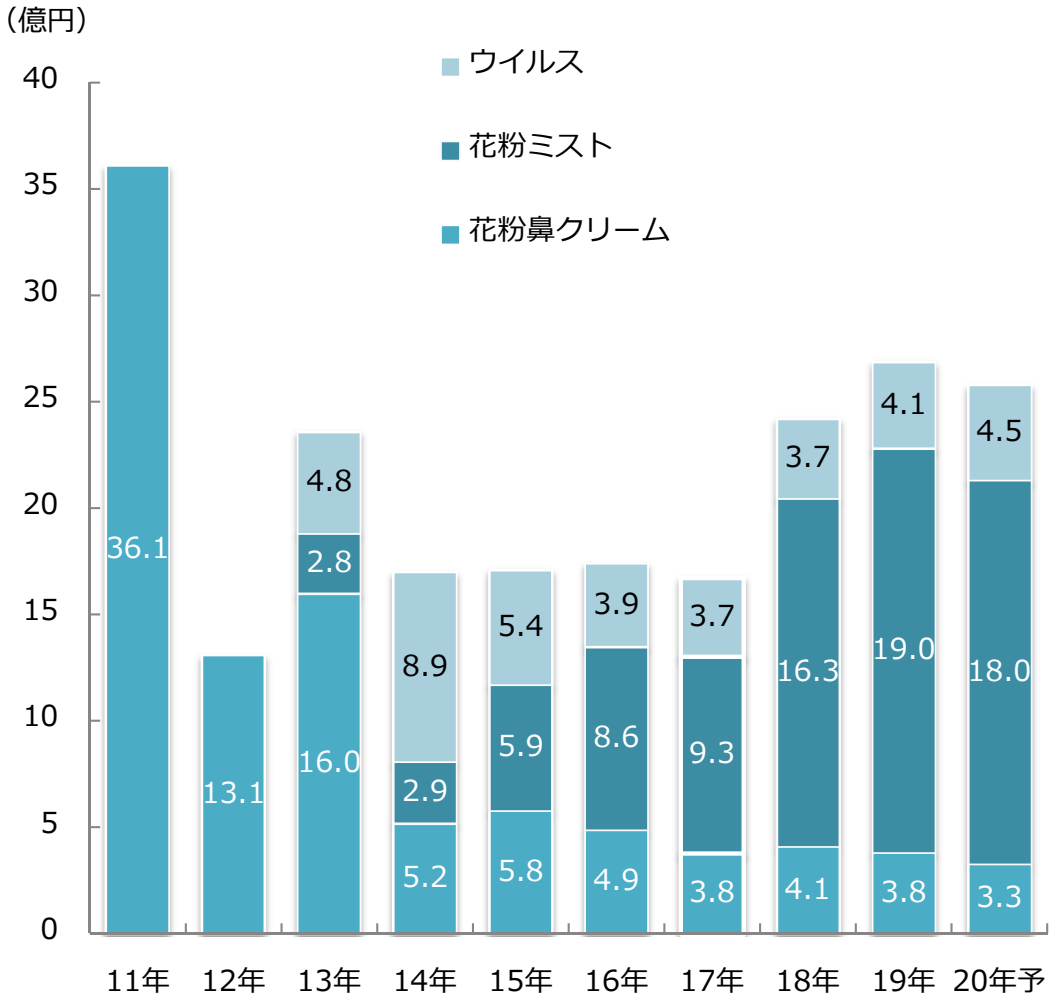
家庭用品市場規模―除菌剤・花粉

除菌剤市場

（当社関連商品）



アレルシャット関連市場

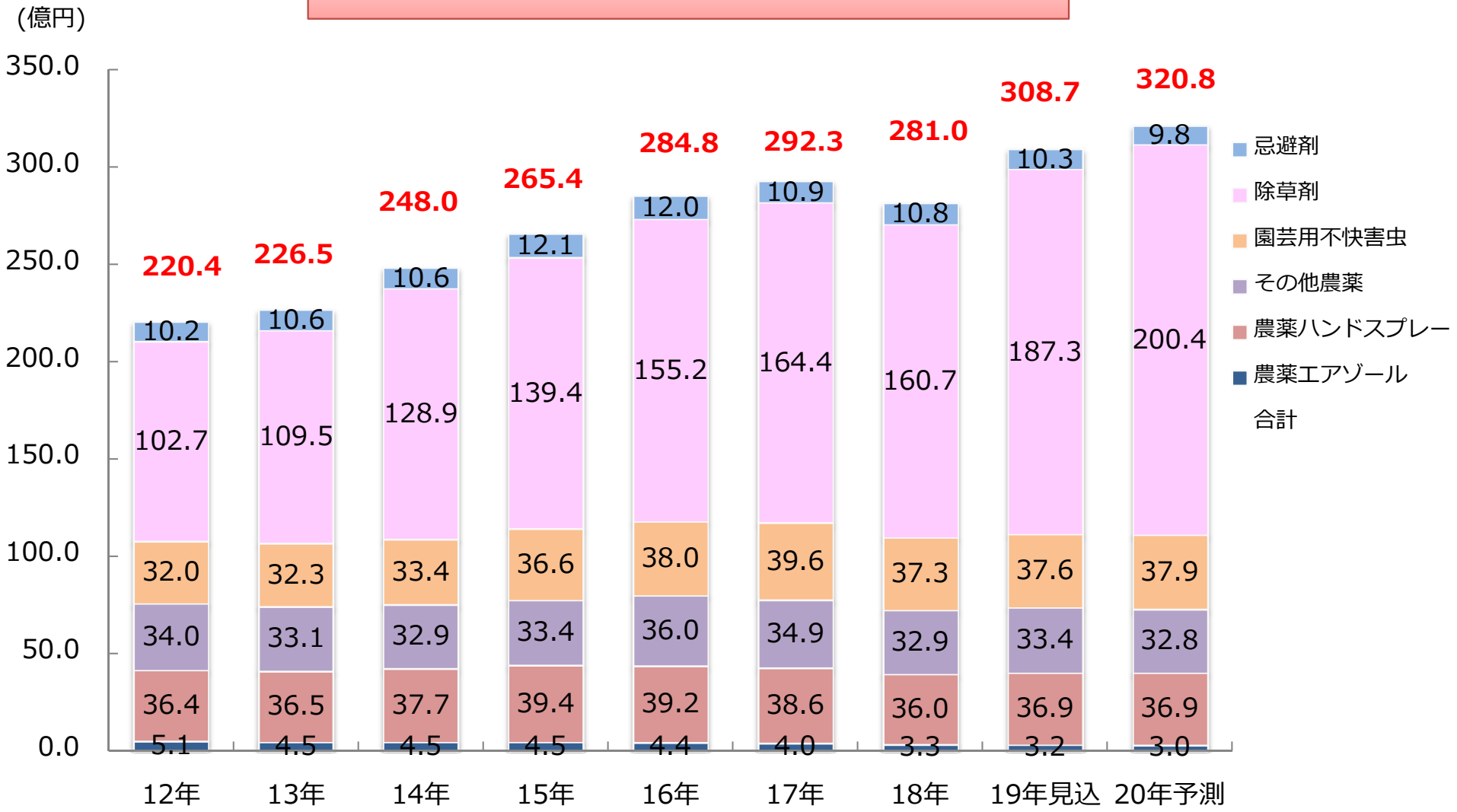


出所：当社推定（末端価格）

日用品質 フマキラー

園芸用品市場規模

園芸用品市場



出所：当社推定（末端価格）※13年より項目追加